

## 電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2017年7月10日

No 355

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男  
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8  
電話(03)6421-5323 染野ビル2F  
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

# 東芝リストラ対策会議結成

6月18日(日)川崎市生涯学習  
プラザで東芝リストラ対策会議結  
成総会が開かれました。

この対策会議は2015年発覚し  
た粉飾決算によるリストラに続き、  
2016年12月には原発子会社米ウ  
エスチングハウス(WH)社の巨  
額損失が発覚、損失補てんのため

ワックス部門の分社化と売却、残る事業を四事業部門  
に分社化するリストラから、労働者の雇用と地域経済  
を守り、東芝が企業の社会的責任を果たす事を求めて  
結成されました。

総会には電機職場関連70名、労働組合や民主団体  
など各分野あわせて146名が参加、特にマスコミ関連  
が11社と目立ちました。

結成準備会を代表して岡本一神奈川総研副理事長が  
「歴代経営陣の犯罪的行為が招いた経営危機のつけを  
労働者に回すことは許されない。共同して闘っていき  
たい」と主催者挨拶をしました。

連帯挨拶にたった神奈川労連福田裕行議長は「神奈  
川ではルネサスと日立に続き東芝も大リストラ。電機  
大企業が雇用と地域経済を守る社会的責任を果たすこ  
とを求めていく」と発言。電機・情報ユニオン米田徳  
治委員長は36万人を超えた電機大リストラの現況を  
報告し、原発事業をめぐる日米政財官との癒着と東芝  
経営陣の無法ぶりを鋭く指摘、全国的な闘いに立ち上  
がろう、と呼びかけました。

日本共産党議員からは、畑野さみえ衆議院議員が来  
賓挨拶「先の国会では東芝の1万人を超えるリストラ  
に対して国としての対策本部設置を要求した。行政が  
企業の側に立って情報を隠さないよう求めていく」  
と述べられました。君島ちか子神奈川県議員が挨拶、  
木佐木県議、川崎市議の渡辺・市古・宗田3氏、白井



横浜市議を紹介しました。

## 原発事業固執が東芝危機の根源

総会に先立ち「しんぶん赤旗」経済部金子豊弘氏が  
「東芝 原発巡る深い闇」について特別報告しました。  
東芝危機の背景には、短期的利益追求の経営、物言え  
ぬ社内、機能しない監査システムなど、今の日本資本  
主義の諸問題をすべて内包している。それにも増して  
原発事業に異常なほど固執し続けた東芝経営陣の罪は  
大きく、労働者に犠牲をおしつけるリストラは許され  
ない、とわかりやすく解明されました。

総会議案を東芝の職場を明るくする会・鈴木登美夫  
事務局長が提案、規約案と役員案も承認されました。  
代表委員には、福田裕行・神奈川労連議長、岡本一か  
ながわ総研副  
理事長、藤田  
実労働総研事  
務局長。事務  
局長には、鈴  
木登美夫氏と  
なりました。

最後に団結  
してたたかお  
うと三唱しま  
した。

(右上写真)

## 今月号の紙面

- ①東芝リストラ対策会議結成総会
- ②電機大手の株主総会で取組む(1)
- ③電機大手の株主総会で取組む(2)
- ④日立労組本部要請行動の報告
- ⑤ルネサス懇「第7回総会」開催  
5・31争議支援総行動の実施
- ⑥ラプラス「聖火」谷口さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第30回総会」開催案内  
全国世話人会の案内、集積回路